



題字…今山政三郎氏

発行所 新潟県小学校長会広報部 新潟市中央区万代1-3-30 万代シティホテルビル3階 TEL 025-290-2231 FAX 025-245-6060 E-mail: nksjko@niigata-net.or.jp 印刷所 株式会社 文久堂



続・大切にしたい「その学校らしさ」

新潟県小学校長会 会長 藤本 高雄

校長会報三六六号の続編です。(前号は新潟県小学校長会HP参照)

大手町小のある朝の風景です。児童玄関には、四年生が使うライフジャケツトがつり下げられ、三年生のイベントを知らせるポスターが掲示板に所狭しと張られています。児童玄関が開錠され、しばらくすると、四階の教室から下りてきた五年生がグラウンドの牛小屋や田んぼや畑に勢いよく飛び出していきます。その先にある畑には二年生が、さらにその先にある白いポニーのいる広場には一年生の姿がすでに広がっています。そのような中、音楽室からは、六年生の心地よいマーチングの音色が聞こえてきます。

これらは、大手町小で見られる日常的な朝の風景で、私のお気に入りです。そして、この大手町らしい風景や子どもたちの姿は、勤務する教職員の元気の源となっています。

様々なところで言われているように、

現在の学校現場における課題は、多様で深刻さを増しています。それら課題の解決に向けて、各校で苦慮しているケースも多いかと思えます。時には対応に追われることもあるでしょう。

その上で、様々な状況にあっても、私たち校長は、学校を子どもや教職員にとって魅力ある場にしていくという意志を強くもち続けることが重要になると考えます。このことは、様々な課題の解決にも通じることです。

私は、学校の魅力は「その学校らしさ」にあると考えます。各校で「その学校らしさ」が輝く学校づくりに取り組みむことは、子どもたちや教職員を元気にします。各校の魅力ある学校づくりに役立つことが校長会の役目です。

「新潟県の小学校は、どこも活力にあふれ元気だね」こんな声が聞かれるよう、校長会として各事業の充実に努めます。

(上越 大手町小学校)

令和7年度 新潟県小学校長会 役員名簿

●本部役員

Table with 4 columns: 役職 (Role), 郡市・政令指定都市 (Municipality), 任校 (School), 氏名 (Name). Lists members of the main committee including the President, Vice President, and various department heads.

●各委員

Table with 4 columns: 役職 (Role), 郡市・政令指定都市 (Municipality), 任校 (School), 氏名 (Name). Lists members of various committees such as the Elementary Education Curriculum Committee, School Report Committee, and Home Page Committee.

●事務局

Table with 3 columns: 事務局 (Office), 局長 (Chief), 庶務 (Secretary). Lists the staff of the Niigata Prefecture Elementary School Principals Association and the Niigata Prefecture Elementary School Education Research Association.

第八十五回県小代議員会

南魚沼大会

○令和七年五月八日 (木)
○南魚沼市民会館

本年度の県小代議員会は、四季の彩り豊かな南魚沼市で開催された。昨年度の妙高大会の運営を引き継ぎ、本部会・理事会・代議員会、郡市・政令指定都市会長部会等の各部会という順に一日日程で開催した。代議員会は、全県各郡市・政令指定都市の代議員、新任校長のオブザーバーが一堂に会し、対面式で実施した。

一 開会式

新潟県及び新潟市教育委員会教育長をはじめ十四名のご来賓、代議員百八名、オブザーバー六十三名、本部役員、大会サポーターの南魚沼郡市小学校長会員を含め、総勢二百二十八名の参加で行われた。

開会の挨拶で、藤本高雄会長は、「学校現場における課題は、多様で深刻さを増している。各校でも創意工夫を凝らして取り組んでいる。しかし、各校の取組だけでは解決が難しい課題が多くある。このような状況で、『工夫した取組を共有し、解決への方向性を見いだすこと』『思いや実態を集約し、関係行政機関に声を届けること』等が

校長会の意義や価値である。」と力強く語った。そして、「今年度は『つながる』『学び合う』『活かす』をキーワードに各事業の充実を図り、県下全域の小学校において、その学校らしさが輝く『魅力ある学校づくり』が具現化されるよう、積極的な取組を展開する。」と力を込めた。

来賓祝辞では、新潟県教育委員会教育長 太田勇二様が、「少子化、デジタル社会等様々な環境変化に伴い教育課題も複雑化・多様化し、解決に向けて難しい対応を迫られている。『一人一人を伸ばす教育』『児童が安心・安全に学べる学校づくり』の二点に力を入れている。校長がリーダーシップを発揮し、よりよい教育環境に尽力してほしい。」と期待を述べられた。

次に、新潟市教育委員会教育長代理 教育次長 丸山明生様が、「新潟市教育振興基本計画を策定した。学校が地域社会から信頼されるためには、教職員のワークライフバランスを確立し、生き生きと子どもに向き合う環境づくりが基盤である。校長先生方には、教

職員一人一人に細やかな目を配り、活気あふれる学校経営を行っていただきたい。」と激励をいただいた。

続いて、南魚沼市長 林茂男様より、「ふるさと納税をできるだけ教育現場に使っていきたい。校長として同じ目線で相談できる相手は、やはりここにお集まりの校長先生方であろう。本音で語り合い、元氣付け、学校教育を推進してほしい。」と期待を述べられた。

次に、湯沢町長 田村正幸様より、「町を誇りに思い、未来を切り拓く力を備えた子どもを育成を目指し、一貫した教育を推進している。どんなに社会が変化しても『教育は人なり』の本質は変わらない。」と激励をいただいた。最後に、新任校長を代表して、南魚沼市立楊窪小学校長へ藤本会長から会章が授与された。

二 全体会

議長団として、南魚沼市立大崎小学校長、湯沢町立湯沢小学校長が選出された。

初めに、令和六年度第二回評議員会で承認された事項の報告があった。令和七年度の役員として、会長に上越市立大手町小学校の藤本高雄校長、副会長に十日町市立十日町小学校の大島一英校長、新潟市立小針小学校の荻野真美校長、そして理事十四名、監査三名、幹事等の役員の就任が紹介された。

その後、議事に入り、各議案が提案

どおりに承認された。令和七年度活動方針・事業計画で、藤本会長は、活動の大綱について、「子どもたちの個性や興味・関心を最大限に発揮させ、自律性や主体性、創造力、課題解決力等を伸ばす学びへの転換を図ることが必要である。そのために、校長は、効果的なカリキュラム・マネジメントを確立し、デジタル化への対応を総合的に進め、学習者主体の教育活動への転換を図っていく必要がある。また、教職員の質の向上、グローバルな視野の教育活動等も進めていかなければならない。」とし、十の重点項目に取り組むことを提言した。

三 閉会式

開催地を代表して、実行委員長の南魚沼市立六日町小学校長が、滞りなく代議員会が運営できたことに対し、関係者に感謝の意を伝えた。続いて、次期開催地を代表して新潟市立御免町小学校長が、南魚沼大会へのお礼と次期開催に向けての決意を述べた。最後に、大島副会長の閉会宣言で代議員会南魚沼大会全体会を閉じた。

(南魚沼 六日町小学校)

県小学校長会
HPへアクセス



学校経営に役立つ
情報満載



対策部

部長 今井 渉

〔提案要旨〕

一 活動の重点

「各市町村における教育関連予算等の拡充」に焦点を当て、各郡市小学校長会・政令指定都市小学校長会や関係機関等の協力を得ながら組織的な調査研究を行い、各学校や各郡市小学校長会・政令指定都市小学校長会の対策活動の参考となる資料を提供することにより、その運営に寄与する。

二 活動の概要

市町村における教育関連予算等について調査研究を行い、報告書にまとめるとともに資料編を作成し、各郡市小学校長会・政令指定都市小学校長会に提供する。

(一) 調査研究内容

【市町村教育委員会への問合せによる調査】

- ・ 学校基本情報
- ・ 教育関連の各種人的配置人数
- ・ 「学校における働き方改革の推進」のための取組
- ・ 「給食の公費計化」への取組
- ・ スクールロイヤールの配置

【校長への調査】

- ・ 特別支援教育の実態

- ・ 市町村予算による人的支援の現状
- ・ 市町村予算による人的支援の現状への満足度と現状を補う対応
- ・ 「学校における働き方改革の推進」のための取組

・ 集金振り込み等に係る現状

・ 法的アドバイスが必要と思われる事案の発生状況

(二) 調査研究活動

- ・ 各学校や郡市及び政令指定都市小学校会の対策活動の参考となる調査研究活動の推進
- ・ 郡市及び政令指定都市対策部の取組を生かした活動の推進

三 調査研究内容の分担・活動予定

(一) 第一調査研究委員長

- 委員長 加茂市立石川小学校校長
- 市町村教育委員会への問合せによる調査

(二) 第二調査研究委員長

- 委員長 新潟市立下山小学校校長
- 校長への調査

(三) 主な活動予定

- ・ 五～十月：調査内容の検討、結果の整理・分析
- ・ 九月………「資料編」を各郡市会長へ発送
- ・ 十一月………「調査研究活動報告書」の原稿完成・提出
- ・ 一月………次年度の計画案検討

(長岡・三島 阪之上小学校)

福利部

部長 山岸 力

〔提案要旨〕

一 活動の重点

年々厳しさを増す教職員の給与・処遇の中、役職定年後の勤務、退職後の再就職及び福利厚生を巡る情勢に対処するため、県中学校長会や全国連合小学校長会等と連携し、情報収集や調査活動を行い、その維持向上やライフプランニングのための要望活動に資する。また、ライフプランに関する研修を推進し、教職員の福利の向上に寄与する。

二 活動の概要

福利部内に三委員会を組織し、調査研究活動、要望活動、情報提供を行う。

(一) 県小学校長会として行う調査研究活動等

- 1 校長の給与の実態についての調査研究活動及び給与水準の維持向上を図るための要望活動
 - 2 役職定年後、校長退職後の再就職状況等の調査及びライフプランニングのための要望活動
 - 3 退職後、定年延長等を見据えた意識調査及び情報収集
- (二) 県中学校長会等と一体となって推進する活動

1 県内福利関係六団体への要望の

取りまとめと懇談会の開催、ライフプランに関する活動のための協議及び報告書の作成(県中学校長会主管)

2 福利広報「退職時の手続き一覽」の作成と配付(県小学校長会主管)

3 福利厚生関連事業の活用や福利厚生施設利用促進の呼び掛け

(三) その他

・ 「調査研究活動報告書」の原稿作成と活動の振り返り

三 調査研究委員会の活動内容・分担

(一) 給与委員会

- 委員長 長岡市立新組小学校校長
- 校長の給与等の実態調査、問題点の分析、要望集約

(二) 福利第一委員会

- 委員長 上越市立上下浜小学校校長
- 役職定年後、校長退職後の勤務、再就職等の状況調査、ライフプランニングのための要望活動

- ・ 特例任用・暫定再任用校長を除く会員に対する、年金制度や定年延長についての意向調査

(三) 福利第二委員会

- 委員長 新潟市立黒埼南小学校校長
- 県内福利関係六団体への要望調査と懇談会開催及び懇談会報告書作成、六団体との協働によるライフプランに関する活動推進

(長岡・三島 表町小学校)

研修部

部長 中村 一彦

〈提案要旨〉

一 活動の重点

学習指導要領の理念を実現し、地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために、校長会研究会(兼第十七回関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会)を開催して研修を深める。また、教育課程、生徒指導、同和教育の三委員会を設け、調査研究活動や研修活動に取り組み、校長の資質・指導力の向上を図る。

二 活動の概要

(一) 校長会研究会

全国連合小学校長会の研究主題を受け、新潟大会副主題を「未来を拓く新たな価値を創造し、豊かな社会をともにつくる子どもを育む学校経営」とした。十二分科会・二十分散会を設け、関東甲信越地区各都県で先進的に取り組んでいる実践の意義や成果を共有し、大会主題の更なる追究を目指すとともに、校長が果たすべき役割や発揮すべき指導性について究明する。

期日 六月十九日～二十日
会場 新潟市 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 他

参加者 関東甲信越地区各都県から九百六十九名を予定

(二) 第七十七回全国連合小学校長会

研究協議会福岡大会への参加

期日 十月十六日～十七日

会場 福岡市 福岡サンパレス、福岡国際会議場
参加者 新潟県から四十三名を予定

(三) 委員会活動

1 教育課程委員会

教育課程の実施状況や教育課程に関わる諸問題について調査研究を行う。令和六年度の全国連合小学校長会教育課程委員会の調査と比較したり、現状と課題を分析したりして、各校の教育課程の改善・充実のための資料とする。

2 生徒指導委員会

教員の生徒指導力向上と児童のネットトラブルに対する効果的な取組について調査を実施する。全国調査と比較しながら、県内小学校における現状と課題を分析・検討し、各校における取組の改善・充実のための資料とする。

3 同和教育委員会

新潟県同和教育研究協議会の各種委員の選出及び諸会議への出席など各種研究会への参加体制の確立などを通して、同和教育推進の活動を行う。また、部落解放新潟県研究会、「いのち・愛・人権」展等、同和教育に関わる各種大会等に参加し、校長自ら同和教育についての認識を深める。

(新潟 桜が丘小学校)

広報部

部長 多田 和幸

〈提案要旨〉

一 活動の重点

会員の連携と学校経営の改善・充実に資するよう、県小学校長会及び各都市・政令指定都市小学校長会の活動や当面する諸問題に関する情報を提供するとともに、活動の記録として保管し、その活用を図る。

二 活動の概要

(一) 「初等教育」の発行

1 年一回、一月の発行とする。
2 「校長会報」との連携を図り、記録性・資料性の視点から、一層親しみもてる会誌を目指す。
3 県小学校長会の活動や関プロ新潟大会の様子、会員の研究実践や提言、新任校長の所感を周知する。また、今日的な教育課題や方向について、有識者からの寄稿を通して、会員の資質向上を図る。

(二) 「校長会報」の発行

1 年三回、七・九・十二月の発行とする。

2 「初等教育」との重複を避け、速報性を重視し、都市・政令指定都市小学校長会の活動や全連小大会、関プロ新潟大会の様子等を紹介して、会員の学校経営に寄与する。

3 執筆依頼の際は、地区等の偏りが出ないように配慮する。

(三) ホームページの運用

1 県小学校長会及び各都市・政令指定都市小学校長会の活動等をWebページを通して広報し、会員相互の交流や県民に開かれた小学校長会の一助とする。

2 教育課題への提言や教育随想等、会員の取組を主に掲載する。

3 教育関係者、教職員、会員及び県民が各学校及び県内教育行政機関に容易にアクセスできるようにする。

(四) 調査研究活動報告書の発行

1 県小学校長会の各部の調査研究活動等を記録としてまとめ、一月に発行する。
2 県及び政令指定都市へ提出した要望書を掲載する。

(五) 全連小広報部との連携

1 「小学校時報」の配付と寄稿、全連小出版物の購入促進を行う。
2 全連小アンケートに協力する。
3 全連小ホームページ掲載「特色ある学校」の該当校を推薦する。
(長岡・三島 希望が丘小学校)